

甌嶽修験

国際色豊かに柴燈護摩修す



新緑の中での柴燈大護摩

第三十号
2013年6月11日
発行所
甌嶽山観音寺
編集 甌岳清美

今年も多くの方々に参詣を頂き、甌岳を臨むハチ力沢で柴燈護摩を修する事が出来ました。山中まで、大勢の方に足を運んで頂き心から御礼を申し上げます。今回で60回目となった

た甌嶽峰中修行には、国内からは弟子たちをはじめとして宗内外から行者が集いました。そして海外からはオーストラリア、カナダからも修行者を迎え、国際色豊かな充実した修行となりました。

今回はこの峰中修行について少しお伝えする事といたしましょう。皆さんは修行といえ、厳しい荒業を行い、悟りを得るためのものとお思いの事でしょうか。しかし、私はそのようには考えてはおりません。参加者は修行中においては断食や睡眠不足となるのは当然のことなのですが、私が参加者に一番感じて欲しい事は、けっして高尚な

事ではありません。色々な制約を受け修行を行う中で、参加した皆さんがいかにかこの現実社会で生活している事が、恵まれていた事なのか、気をつけて欲しいと願っています。たかだか二泊三日の修行ですが、空腹、疲労などが、空腹、疲労などが参加した皆さんは相応なストレスを受けることになります。こうした緊張状態で、つかの間の語らいなど、ささやかな休息の中でホッとする瞬間があります。こうした何気無い一瞬が、いかに大切なものであるか、そして安楽で心地よい我が家や、家族の事を思い出して頂き、そうした存在が自分にとつてど

霊験の観音

百五十年ぶりに御開帳

観音に手を合わせて、万感の思いで札打ちを終えたのです。今後は、竹観音を旧6月17日と正月の年2回だけ御開帳する事に致します。今年の旧6月17日は7月24日(水)となりますが、多くの方々にお参りして頂きたいと存じ、7月28日の日曜日に御開帳致します。当日は午前10時に不動供を修した後にお厨子を開き

ます。午後9時には聖観音供を修します。皆さまのご先祖さまが、観音参りの際に必ず手を合わせるのが竹観音です。お参りする事は、皆さまの先祖供養ともなります。当時の人々の悩みや病などの抜苦を託され、叶えてきた霊験あるお観音様です。是非多くの方々にお参りして頂きたいと存じます。

ういうものなのか気づく事が出来れば、この修行は成功したと言えるでしょう。峰中修行は一人では出来ません。一切の行事は皆が協力しなければ執行がかなわないのです。皆が力を合わせることで、自然の中でつつがなく行事が務まります。峰中修行は個としての修行ではなく、和としての人間の大きな力に気づくためのものなのです。そうした気づきが日常生活においての親兄弟、友人、家族への感謝の思いに至ってこそ修行の尊さに気づくのです。

よく自分の荒行を誇る者があります。そうした者たちは決まって自分だけが凄いと自惚れ、他のものを見下す言動を取るものです。人を増上慢にする修行など一体何の価値があるというのでしょうか。この甌岳の修行では、参加者が笑顔で皆さんを迎え、神仏のお加護を共に賜ったと思っています。

あの柴燈護摩もまた、皆さんという参詣者がいなければ成り立たなかつた儀式です。皆さまと共に手を合



国際色豊かな顔ぶれとなった峰中修行(山頂目指す登拝行)

ご祈祷のご案内

○甲子大黒天
6月26日(水) 午後10時

○不動供
6月28日(金) 午後10時

○竹観音御開帳
7月28日(日) 午前10時

不動供を修した後に
お厨子を開きます。
午後3時から聖観音供を修します。
150年ぶりの御開帳です。
どうぞお参りに来てください。
竹観音は午後5時まで御開帳します。

わせ甌岳山中で神仏に向き合えた事から感謝しております。今後も共に祈って参りましょう。